

## 特別支援



10月10日(木)・11日(金)に本校の学園祭である「きりの子まつり」が行われました。一人一人が個性豊かに輝く場とすることができました!

### 小学部 劇遊びの発表

楽しみながら演じました!



今年の小学部は、好きな役を選び、色々な役に挑戦する中でお話への理解を深め、自分達で動きや台詞を考える劇遊びに取り組みました。

「ねずみのすもう」と「3まいのおふだ」の2つの劇は、どちらも迫力満点で表現力豊かな発表になりました!

自分たちで考えて2つの昔話を演じました!



### 中学部 劇の発表



中学部は、「みんなでチャレンジ! 私は最強」をテーマに、職業・家庭で作った衣装や美術で描いたデジタル背景画、総合で用意したコンビ発表用の小道具などを用いた手作りの劇を発表しました。

クライマックスは自分たちをイメージしたオリジナル歌詞による合唱「私は最強 2024 中学部 Ver.」を高らかに歌い、仲間と一緒に最強の自分を表現できました。



### 高等部 太鼓の発表



高等部は「武田きりの子太鼓」として、伝統の曲を心一つに演奏しました。3年生の新曲「絆」の演目では、リズムが次第に重なり合っていく素晴らしい演奏を披露することもできました。日本航空高校太鼓隊との交流からも大きな刺激を受け、誇らしい姿で発表できました。



仲よし会より

今年のきりの子まつりのテーマは、「えがおをつなぐ みんなのしくきりの子まつり」でした。一人ひとりが楽しく舞台発表できるよう練習に励みました。そして全校児童生徒の力が一つになり、私たちの心に残るステキな「きりの子まつり」にすることができました。

仲よし会 会長 高橋 啓心



# きりの華 24

Kiri-no-ka

第11号  
2024年12月発行

山梨大学教育学部附属  
幼稚園・小学校  
中学校・特別支援学校

今年はいつまでも夏の暑さが続き、なかなか紅葉が進まないと思っていましたが、気がつけばもうすぐ年末・お正月です。来年も子どもたちが健やかに健康で過ごせますよう、教育活動を進めて参ります。

## 幼稚園

実りの秋。幼稚園では、学年ごとに親子一緒にの行事を楽しみ、子ども達と保護者の皆さんのキラキラした笑顔がたくさん見られました。

### スポーツフェスティバル

10月12日(土)に行ったスポーツフェスティバル(通称:スポフェス)は、運動会にあたる行事です。学年ごと時間を分けることで、ご家族が見守る中、親子でゆったりと体を動かして楽しむ機会となっています。

年少児は、おうちのひとと一緒にフープをくぐったり、電車に見立てて乗ったりしながら、色々な動きを楽しみました。「よーいどん!」で思い切り走る姿や、かわいい踊りも見せてくれました。

年中児は縄跳びを使った親子競技や玉入れに挑戦!特に「ダンシング玉入れ」では、ゆったりテンポのダンスを踊る合間に玉入れをするという、緩急のついた動きが、とてもかわいらしく、大好評でした。

年長児は、ボールを使う色々な技や親子対決のゲームにチャレンジ。幼稚園最後の運動会。クラスの友達みんなと力を合わせたパラバルーンやチームごとに取り組んだリレーでは、3年間で大きく成長した勇姿を見せてくれました。

### 親子遠足



身近な自然に親しみ、親子で体験を楽しむことを目的としている親子遠足。森の中でたくさんの発見をした子ども達。年少児は、そのうれしい気持ちをお家の人に受け止めてもらったり、年中・年長児は、それぞれ愛宕山のガイドさんや清里のキープ協会から派遣されたレンジャーさんにより詳しく教えていただいたりしながら、ますます秋の自然への興味や関心がふくらんできた様子でした。

今回、年長児は、「こどもの森みどりの少年少女隊」のご協力、湯村山に親子で植樹を体験。子ども達が大きくなった頃、この日植えた木々が森となって、甲府の街並みを見下ろしてくれることでしょう。



附属幼稚園は、今年で創立80周年を迎えました。記念行事として、元オリンピック女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子先生にご指導いただき「ASOBALL」や山梨大学芸術身体教育コースの池山洋子先生によるピアノコンサートを予定しております。

近隣の皆様には、日頃より本園の教育活動へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



## あおぎり祭り

11月23日(土)に児童会の最大行事「あおぎり祭り」が行われました。子供たちは、たてわり学級ごとに、どのようなお店にするか計画を立て準備をして、当日の運営にあたりました。このお祭りに向けた取り組みを通して、異学年児童との交流が図られ、全校が一つになって充実した活動となりました。

また、今年度から保護者とそのご家族にも参加を可能としました。当日は、大勢の方が参観してくださり子供たちと共に楽しんでいただきました。また、それに合わせてPTA主催の文化展やバザー、マルシェ、喫茶が開催され、こちらも多くの方にご参加いただき大盛況でした。



## あおぎり講座

10月26日(土)にあおぎり講座を開催しました。この講座は、山梨大学の附属学校というメリットを生かし、医学部・生命環境学部・工学部・教育学部の先生方の専門分野の講義を受けるという大変貴重な学びの機会となっています。今年度は、大学より8名の先生方にご担当いただき、山梨大学甲府キャンパス他各会場で、5年生以上の児童と希望の保護者が8つの講座を受講しました。各先生方には子供たちの興味関心を惹く内容について、大変分かりやすく楽しく教えていただきました。保護者の皆様も、普段、なかなか受講する機会のない大学の先生の講義をじっくり聞くことができ、有意義な時間を過ごされました。



**堀口 文 先生**  
運動している時の  
コツとカンってなんだろう？



**岩田 智也 先生**  
生物多様性と生態系サービスの  
関わりについて



**宮本 和子 先生**  
世界の人々の暮らしと健康



## 生き方を考える

「附属中生の可能性を広げたい」との思いから始まった若桐講座も14回目を迎えました。今回は教育学部、医学部、工学部、生命環境学部、保健管理センター、国際化推進センターから12名の先生方に大学の教室で講義をしていただきました。

「平安時代のことばと文学」、「失敗から学ぶロボット工学」、「効率的な運動学習」など、多岐にわたるテーマの中から、最も興味のある分野について学んだことは、可能性が目の前に広がる中学生にとってとても貴重な機会となりました。



大学の先生方の熱い思い、保護者の方々の温かい思いを受けて、生徒のみなさんは自分自身の生き方について真剣に考えることができたのではないのでしょうか。



## 肩を組んで、ひとつになって。

第54回桐龍祭が、テーマ「焔龍」のもと、9月20日、21日の2日間にわたり実施されました。生徒、職員が一丸となって取り組んだ生徒会最大行事は、テーマの如く、熱く天に昇るほどの盛り上がりの中、成功を収めることができました。

コロナ禍を経て行われる学園祭は、年々、縦割り活動である「ブロック」の取り組みに充実が見られます。印象的だったのは、閉祭式で、歌われた全校合唱「時を越えて」です。3年生が自然と肩を組んで歌う姿を見て、1年生、2年生へと派生していく様子は感動的でした。先輩から後輩へと伝統が受け継がれ、附中生としての“つながり”を大切にする姿がそこにありました。来年の桐龍祭も楽しみです。



## クラスの思いを合唱にのせて♪

11月12日にYCC 県民文化ホールで合唱のつどいを行いました。冒頭早川校長先生より「合唱は心を合わせてクラスを表現するもの」というお言葉をいただき生徒も気持ちを一つにして合唱に向かいました。1年学年合唱「コスモス」、宇宙を合唱で表現するというテーマに1年生らしい元気いっぱいの合唱が印象的でした。2年学年合唱「プレゼント」、中学生らしい歌詞の意味を理解し、その想いを聞いている人に届けました。3年学年合唱「聞こえる」、平和と希望という3年生にしか表現できない人類普遍のテーマを四部合唱で歌いあげました。その広がりやホールを飛び出して全世界に向けてのメッセージのようでした。各クラスの合唱も、昔から歌い継がれてきた合唱曲からの選曲も多く見られ附属中としての文化の高さを感じられました。クラスの仲間全員と担任の先生と一緒に創り上げた合唱曲はきっとこれからも私たちの心に響き続けると思います。最高の合唱をありがとうございました。



11月12日にYCC 県民文化ホールで合唱のつどいを行いました。冒頭早川校長先生より「合唱は心を合わせてクラスを表現するもの」というお言葉をいただき生徒も気持ちを一つにして合唱に向かいました。1年学年合唱「コスモス」、宇宙を合唱で表現するというテーマに1年生らしい元気いっぱいの合唱が印象的でした。2年学年合唱「プレゼント」、中学生らしい歌詞の意味を理解し、その想いを聞いている人に届けました。3年学年合唱「聞こえる」、平和と希望という3年生にしか表現できない人類普遍のテーマを四部合唱で歌いあげました。その広がりやホールを飛び出して全世界に向けてのメッセージのようでした。各クラスの合唱も、昔から歌い継がれてきた合唱曲からの選曲も多く見られ附属中としての文化の高さを感じられました。クラスの仲間全員と担任の先生と一緒に創り上げた合唱曲はきっとこれからも私たちの心に響き続けると思います。最高の合唱をありがとうございました。

